



週寫眞報

内閣情報部編輯
六月十日

海軍作戦の一年





海軍作戦一年を回顧して

國民に告ぐ

海軍大臣 米内光政



上 向 位 体

へ 海 の 等 我

北 支 へ

満 洲 へ

台 湾 へ

朝 鮮 へ

沖 縄 へ

瀬 戸 内 海 へ

南 紀 州 へ

大 阪 商 船

爾れは昨年八月十三日突如上海に艦隊が勃發し、
 香港海軍水雷艦隊の第一艦に立つて奔つてから、早く
 も既に二周年を迎へることになった。
 この間我が忠勇なる海軍將士は、至高至大なる御
 威の下、終始全日本國民の熱誠なる後援に感奮し
 つゝ、奮勇力闘を續けて今日及び、克くその使命を
 遂行するを得たのであるが、事以來我が海軍に亘
 せられたる諸多的作戦任務は、極めて複雑多岐に亘
 り作戦行動の範圍亦頗る多方面に涉つてゐるのであ
 る。
 即ち海軍本来の使命たる海上防禦を始めとし、殊
 艦隊及航空部隊の警備、支那航路の交通遮断、長江
 作戦、膠州の占領、陸軍との協同作戦等の如きは其
 の主要なるものである。
 而してこれ等の作戦任務は、概きなき我が海軍
 の基礎の上に其事に遂行せられ、常に確かしき戰果
 を收めしめてゐるのである。
 殊に我が海軍が夫々其の本来の任務を全うしつ
 つ、免協力し、渾然一體となつて能く有機的機能を
 發揮しつゝ、あることは誠に歴史上其の類を見ざる立
 派であるか、これは實に海軍を牽制せる海國日本の
 享有すべき必然の現象であつて、更に長江三千哩の
 大河を存在し我に地の利を提供して居ることは、
 地理的自然の結果とはいへ、又東洋に導かれたる天
 佑と斷ずべきである。
 かゝる江上といはず、湖上といはず、我が海軍艦
 の從つて、大陸の奥深く陸所に比類なき海陸協
 同作戦の真髓を發揮し、周知の通り東洋は既に長江
 の要衝を、湖口、九江を占領し、敵々敵の心臓部
 武漢三鎮に肉迫しつゝある現狀である。
 尙海軍の全作戦行動を通じて我が海軍航空部
 隊が終始輝々たる功勳を立て、居ることは周知の通
 りであるが、これ等の海軍機中には國民赤誠の結晶
 たる多額の犠牲があり、或は全日本、小學生號
 中學生號、女學生號等、戰死者の名も鮮かに、我が
 國民の烈々たる魂を散せて、支那大陸の上空を飛
 び勇躍奮闘を續けてゐることを告ぐたい。
 本大臣はこの機會に於て、種々の形式に於て表現さ
 れたる誠摯の赤誠に對して衷心感謝の意を表せんと
 欲するものである。
 茲に臨み、この未曾有の國難に臨して全日本國民
 か、外敵に立つと、内敵後にあるを問はず各其
 の分に應じて敵々學國一致防衛の完備を期し、以て
 聖戰終局の目的を達成し、はげしく安んじ奉らんこ
 とを冀望して止まない次第である。

撮影 木村伊兵衛



南京空襲 の思ひ出

海軍大佐 千田貞敏

昨年九月の十九日に有力なる飛行機隊が編成されまして第一回の南京空襲を決定した日の思ひ出を申し上げます。水上偵察隊を以て機隊の直接機として、戦闘機を遊撃隊として、南京まで白雲堂と敵首都の上空に至り向つて来る敵機は全部優秀なる我が戦闘機を以て撃ち、更に敵飛行場に在る飛行機格納庫、その他の軍庫施設は、今の機隊を以て破壊してしまはうといふ計画であります。爆撃機得意の急降下機をやるのでございませうか之を終つたら皆一旦南京の北方の揚子江に集つて、此處で機隊を整へて歸りは江を傳つて歸つて来る。といふのは、南京の上空で猛烈な空戦をやりました。若しカウリンタンクで射撃されて、ガソリンが漏出して歸れないといふ場合にはこの幕の生え、居る河岸に潜水して、無線電信は勿論通しますから無線電信で位置を知らせる。さうすれば水上機を直ちに派遣致します。敵前に潜水、入陣だけ收容して歸ること出来る。斯ういふ計画であります。又實際に水上機の勇士の決死壮舉に依つて三回位搭乗員だけを救つて居ります。指揮官は和田少佐、この第一回の南京空襲を決定するに當つては、和田少佐の周密的計畫に依る所が多いためです。當日の出撃の場面を申し上げます。朝〇時に部下の約〇名の搭乗員を襲めまして、一人々々點檢致しました。搭乗員達には機行品を特に注意致しました。敵地を飛ぶのでありますから何時何處に不時降陸しても自決すること出来るやうに、日本刀は皆持つて行きます。それから飛行機で不時着する場合には能く怪我をすることあるであります。

(次頁へ続く)



空襲の歌

作詞 大友柳 隆雄
作曲 大友柳 隆雄

出動命令は下つた。地上整備員が晝夜をわかつ、隅々をわたつて點檢した機は、精神無比の双翼を張り、プロペラは轟然四邊を駆り出陣を告げる。搭乗員は既に生死を思はず、死闘と笑つて、僚友に訣別の手を振る。

大陸の空あくまで狭し

これぞ、驚愕ひそむ海軍の〇〇基地。空の制覇は、潮風に鼓として國民崇仰の海軍旗は鼓へり、荒々と夏草生ひ茂る海邊の天幕には、静かに、至寶の勇士いこふ。ああ、天空をけふも、征くはわが無敵機隊、轟くは、壯烈荒鷲の聖戦詩！





▷ 南昌爆撃

敵ひすんで日は暮れて、戦雲連き海邊に夜を呼ぶ。砲聲を聞きながら、敵友と共に夕食を攝る。天幕の外は仄かに明る。宵月夜ふと響を置いて、思ふは月明の長驅爆撃行。

海の荒鷲を讀へる

わが無敵海軍が、大山事件を契機とし、北支の陸軍に呼應、決然立つて上海に軍艦の火蓋をきつた。銘記すべき日。昨年八月十三日以来、沿岸の航行を断ち、陸軍との共同作戦に、卓爾不群の陸軍の偉勳は、柄として四海に輝き、不朽の戦史を綴つたが、中にも十五日、颶風をうけての南京渡洋爆撃に始まる、「海の荒鷲」海軍航空隊の劇的戦果は、全世界に讃嘆の眼を眩らしめ、敵々の武功は新世紀の語り草となつたのであつた。既に敵艦を撃滅すること、千餘機、敵軍事施設の爆撃、敵軍艦の壊滅は枚挙に遑なく、「海の荒鷲」の名聲は愈々その光輝を加へつゝあるが、この間決先行度か、つひに天空に散華して國民の悲涙をよほつた至寶の勇士も又相當の數に上つてゐるのである。最近では、日本のリヒトホーフェンと稱はれた南郷少佐が、七月十八日南昌航空軍根拠地上空で壯烈な戦死をとげた。恨みのこの日「庭に咲き乱れし花」輪み胸にと、河原撫子の押花にこめて送つた大和乙女の思慕の心、そして今は水軍の跡空しく露前に捧げられる哀傷。これこそ「億國民すべてが、「海の荒鷲」に對してつねに抱く讃仰と至情の現れでもある。

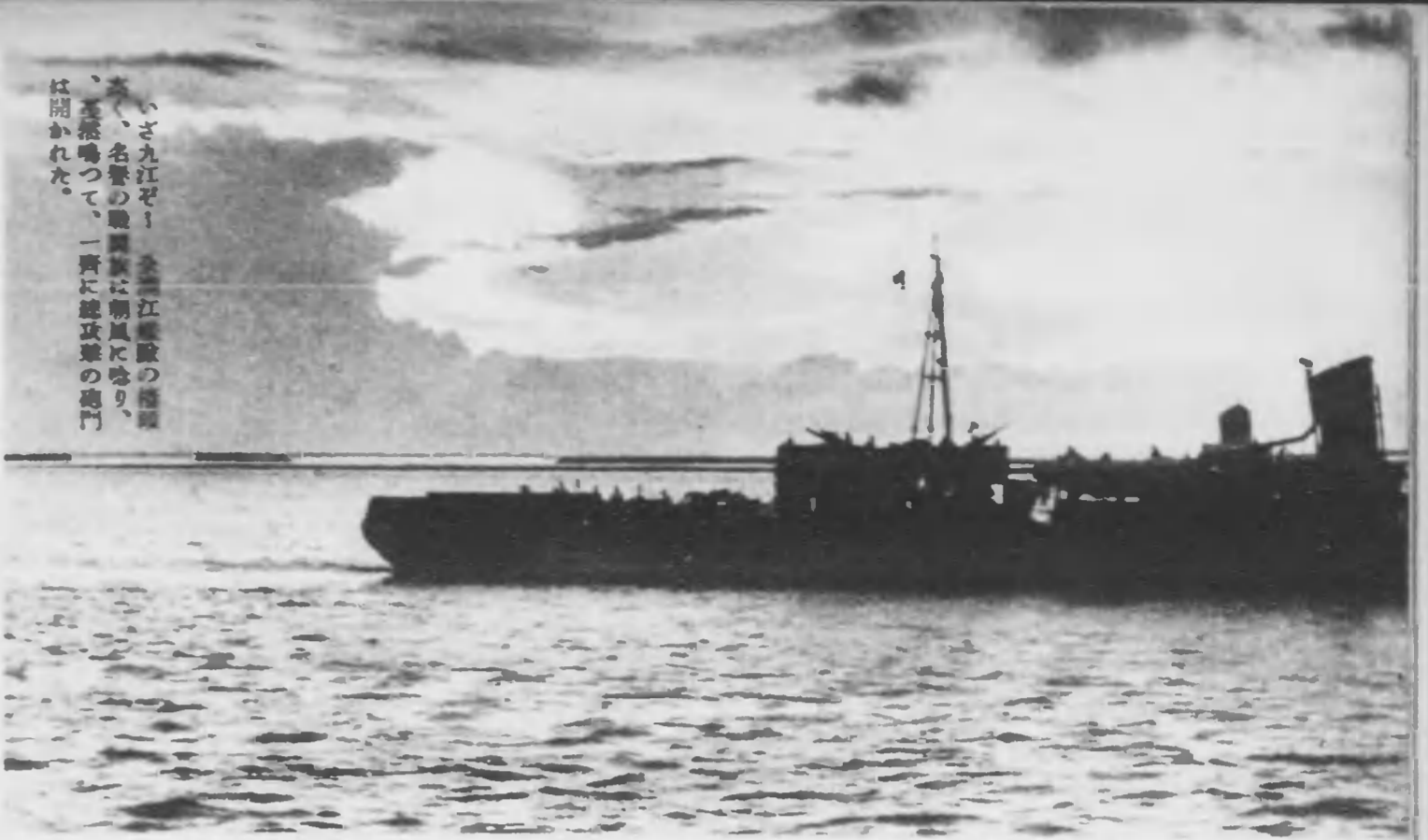
作戦一年、ここに意義深き思ひ出の日を迎へんとし、われわれは、荒鷲を含む全海軍の尊い戦死英靈の瞑福を祈り、尙熾熱に戦ふ將士の勞苦に満腔の感謝を捧げよう。



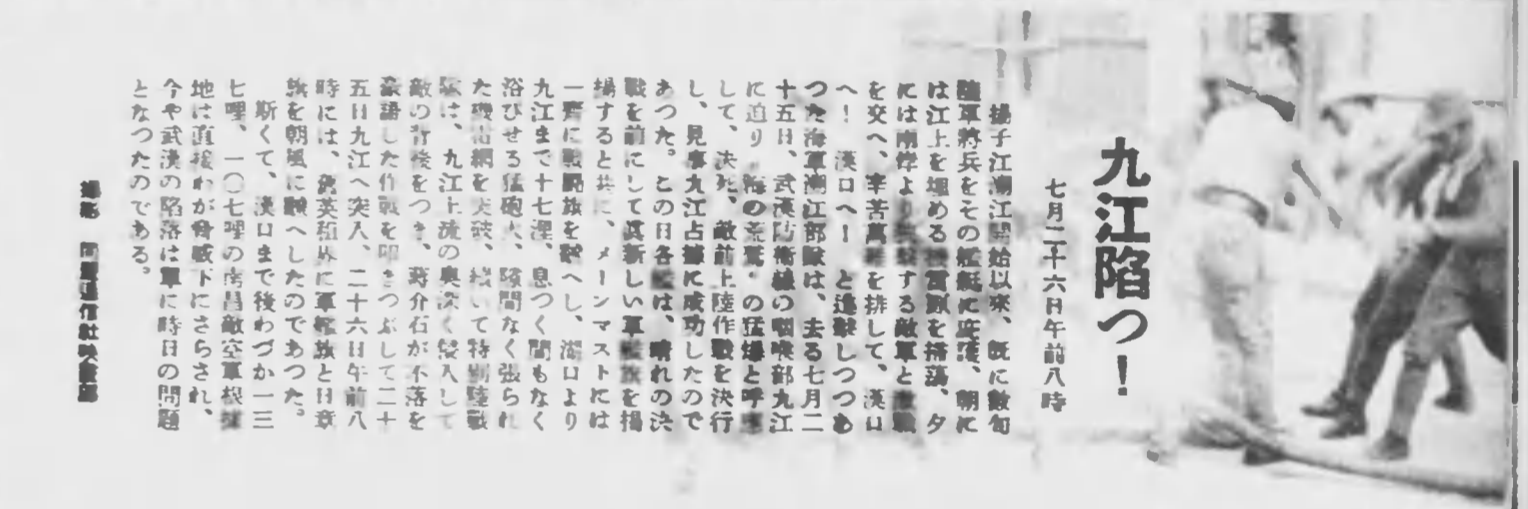
撮影 海軍省

▷ 歸り来る一機また一機。出發の時と同數を數へ得た、地上勤務員の歡喜は如何ばかり。直線になつて海中に飛びこみ、武勳に加へた戦友の膏水を迎へるのだ。けふも又、○○基地に、勝戦の高揚はとほろく。





いざ九江ぞ！ 全九江艦隊の艦隊、
大々、名譽の艦隊は朝風に吹り、
五洲鳴つて、一齊に九江の門
は開かれた。



九江陥つ！

七月二十六日午前八時

揚子江開江以來、既に敵軍
陸軍將兵をその艦艇に庇護、朝に
は江上を巡る艦隊を掃蕩、夕
には南岸より襲撃する敵軍と激戦
を交へ、幸苦萬難を排して、漢口
へ！ 漢口へ！ と進軍しつつあ
つた海軍九江艦隊は、去る七月二
十五日、武漢防衛線の咽喉部九江
に迫り、海軍の五艦と呼ばれ
し、決死、敵前上陸作戦を決定
し、見事九江占領に成功したので
あつた。この日各艦は、暗礁の決
戦を前にして、莫大の勇氣を注
ぎ、一齊に敵艦隊を撃つ、漢口より
九江まで十七哩、息づく間もなく
浴びせる猛砲火、隙間なく強られ
た砲台網を突破、続いて特別陸隊
隊は、九江上流の奥深く侵入して
敵の背後をつき、蒋介石が不意を
蒙つた白頭を叩きつゝ、ついに二十
五日九江へ突入、二十六日午前八
時には、義勇兵隊に軍艦隊と日本
隊を朝風に吹へしたのであつた。
斯くて、漢口まで後わずか三
七哩、一〇七哩の南昌航空軍艦隊
地は直後わが脅威下にさらされ、
今や武漢の陥落は軍に時日の問題
となつたのである。

撮影 同軍通信社記者



九江の上流深く進軍した奇襲陸隊
隊は、大膽、決死の敵前上陸を敢行
江岸に疾る心を揮へて、肉弾突撃の
命令を待つ！



水、空、陸、海軍の猛烈な立體攻
撃に倒壊された敵前線に、機會は上
し、と陸軍部隊は放たれた。果敢、
進軍を開始する、わが陸の精鋭。



武漢三鎮の砲撃部を狙ひ、軍の如
く九江市街に殺到、殘敵を殲滅しつ
ゝある皇軍先遣隊。

空に爆撃の荒鷲は羽ばたき、江上
に艦隊の砲火は裏付け砲臺長江を閉ざ
す中を、壯絶無比、敵前上陸の肉弾
部隊は次々と岸壁へ突撃してゆく。

朗色へ上る海



上海の北停車場附近にある海軍航空隊機庫の跡は、平和が戻ると共に、いち早く内地より引返して来た在留邦人にとつて、まことに好ましい遊歩道となつてゐる。初夏のある日、両親の手を引かれて廢墟を歩む幼い兄妹、彼等が大人になる頃、上海は日本人の手でどんなにか立派に復興されることであらう。



一年前、戦雲はたゞしくゆきかよ上海の町を、くつと鉄砲するわが無敵艦隊の機銃日に輝く黄浦江一面に漲り且つてゐた。七月九日遂に大山大尉事件を契機として戦火は上海に勃發し、中支一面にも兵火は燎原の火のやうに燃えさかつたのである。

上海の繁華街南京路は再び事變前の繁盛を取戻し、世界各國からゆける人種を網羅して晝も夜も人や車の波が繰るやうに流れて行く。只要所々々に瀟然と歩哨に立つ兵隊の勇士と、これに竝んで警備に當る英兵や支那の巡警が上海特有の複雑な國際關係を思はせる。



戦火に荒らされ、鼻々と煉瓦のころがる中に、復興の作業は營々として續けられる。其美路は、その名も前司令官松井大將に因んで、松井通りと名付けられ、兵隊の手に依つて幅百五十尺、中央に線地帯を持つた大通りに擴張されてゆく。東洋平和の大道は、こゝにもひらかれつつある。



撮影 上海プレス・ユニオン

支那事變一周年の七月七日當日、虹口の日本小學校の生徒も陸海軍に對し献金を行つた。白エプロン姿も涙々しい國防婦人會員の捧げる献金箱に勇士も心づくしの献金を入れてゆく。童女のおどけない姿、じつと見入る勇士の面差し、戦火渦巻いた一年前に比しなんと平和なほ、笑ましい情景であらう。

支那軍の盲目爆撃に破壊されたカセイホテルも完全に修繕された。大きな買物包みを下げた支那人母子も、氣配なノースタイ、半ズボンの西洋人の姿にも、事變の影など微塵も認められない。





南京戦没者追悼会

朗色がへる南京

歴史的な海軍の空爆行
 と、陸軍の快速進軍で、
 古い南京は既に滅び、新
 しい南京は、日に日に建
 設されておます。市内を
 行進する皇軍の足並に、
 そつと歩調をそろへてみ
 る支那の民衆のどの顔も
 明るく、明日の希望に輝
 いておます。

捕虜になつた支那兵に
 もう何の苦みもありません。
 皇軍よ、安らかに眠
 れ。と皇軍戦将特兵の真
 摺を祈る特偵は、同時に
 支那軍戦死者の魂も、慰
 るに寄つてやります。



撮影 上海プレス・ユニオン

日本からハスも来ましたが、停
 車場から出る乗合自動車は、な
 つかしい家に歸つてくる人、新
 生活を営むために南京へ出てく
 る人々で、いつも満員です。古
 都の股賑をとりもどすのも、ち
 ら直ぐでせう。

つかしい支那曲藝師も街角
 に見られます。顔の上に廻る風
 車、きらきらと輝く夏の陽。兵
 隊さんも、支那の子供達も一緒
 になつて妙技に見惚れてゐる。
 のどかな一とき。



郵便自動車も通つておます。

これは、ふるさとへ寄せる兵隊
 さんの思慕をとりつぐ、南京の
 ロマンチック・カー、大陸の季節の
 麗りをこめて、けふも溧山の便
 りが托されました。



試みにわれは湖と火山と海に沿って行く、北海道駒ヶ岳山麓一泊約四十キロのコースを歩いてみよう。出発、大沼湖に降り立つた我々は指導者の訓示をうけ、勇躍コースにつく。事前に也するパスなどには目もくれない。

國旗を先頭に颯爽と大地を踏んで行けば、やがて大沼国立公園につく。雄大な自然の風光をあかす眺めてみると、われは魂までが自然の中に大きくとけ込んで行く気がする。



＝行旅歩徒年青＝

麓山岳ヶ駒道海北

五休路沿



わが國近年の傾向として青少年のたのめ心身の鍛錬の旅が、非常な勢で興隆し、これによつて青少年に特殊な明朗活潑な一層見聞され、其の地位の向上に資するものがあることはことに疑いなく、次第である。

平生明るい日光や清浄な空気に照らされず健康な生活を営むことされる現代の青少年にとつて、山野の雄姿は、肉體の鍛錬を要する、明日の勤勞に對して活力の源を與へる。

國民精神總動員會は、八月一日から二十日まで實施される國民心身鍛錬運動の中にもチオラ種、健康



的勤勞作業、武道水泳と共に徒歩の要が取り上げられてゐる。官廳、銀行、會社、工場等の勤勞者に徒歩運動を奨励する同時に、學校、青年團等で登山、登山、遠征、行軍等を行はうといふのである。徒歩は魂を鍛ふるものといふのは古今の哲人詩人中にも歩行者を愛好し之れを實行した人は、数々あつた。

次の時代を背負つて立つべき青少年に對して、肉體の鍛錬に加ふるに精神の鍛錬を以てする健康運動の一として奨励されるものに青年徒歩旅行がある。わが國に於ける徒歩旅行の歴史を顧

みると頗る古いものがあり、信濃に基く登山、現地の遊覽、武者修業、行脚等そのよい例であらう。交通機関の發達や宿舎の完成に伴ひ旅行と云ふものに本格的な要素のなすを伴ふ場合なしとはいへ、昔のかわつた徒歩旅行は全く心身の鍛錬の要素であり、實質的の旅行であつた。此の精神を以て、國民精神の復興、國民體位の向上に高揚される今日に再現し再興するものが青年徒歩旅行である。

青年徒歩運動はその目的とするところは、勤勞界中の青少年に對して健康の上を助させ、更に此の理論ではな

に、實に自己の鍛錬で、わが光輝ある國體と新國力を磨き進ませ、それによつて眞の日本精神を得し、志を磨くとも、大自然の麗麗を享受しつゝ、大地を踏破することによつて精神力と肉體力との向上を期し、併せて豊かな精神を醸成せようとする事である。

勿論外國に於ても此種の運動は早くから行はれてあり、特に発達に於けるフランス、ドイツ、アメリカ、イギリス、オーストリアなどは知られてゐるが、我國にも紹介されては日本古來の精神の復興を基調としてこれに彼の長所を取り入れ、それを更に現下非常時の要求するにまで練り直した純日本のものになければならず、決して歐米の模倣であつてはならないのである。

事実は今や第三年に入り、夏期運動の精神は漸く色濃くなつて来た。勤勞の最後は精神力であり、體力である。我々は此の事象にあつて一層心身を鍛錬して旺盛なる精神力と強健な身體を養成して、國民の實力を全うしよう。

攝影 鎌倉省

ひるだ。めした。一食つてよろしい。一指導者の説令を聞き、日丸旗をバクバクとなつて、胃袋はさつさつとくらくらとなつてゐた。

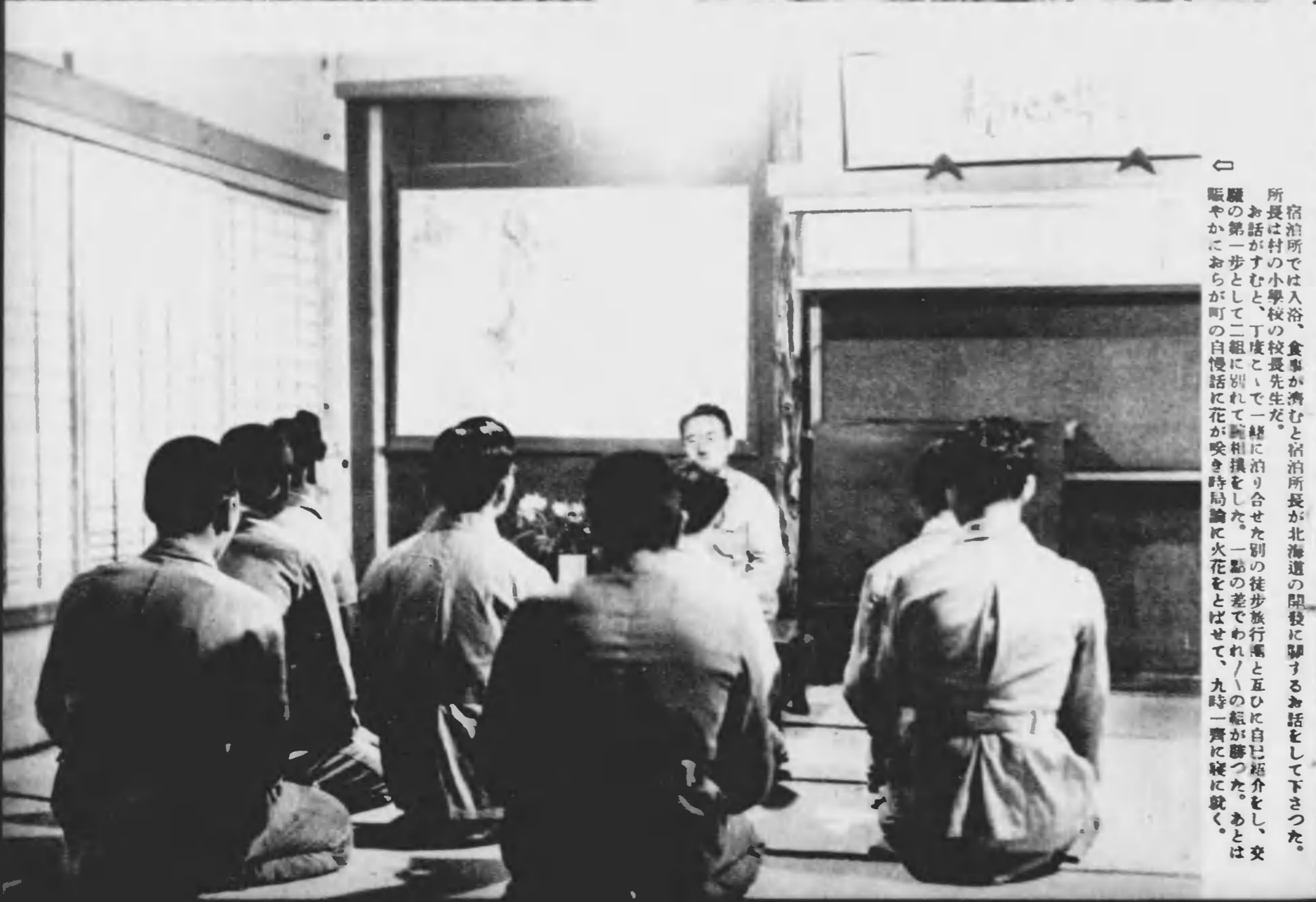
溶岩と、火山灰の荒涼たる原野を、今から丁度九年前、君等がまだ子供だつた昭和四年にあつた駒ヶ岳が大噴發をして、目的とく限りの田畑を溶岩と灰で埋めつくしてしまつたのだ。この附近一帯の農家は此をえず地主をすて、他へ移住しなければならなかつた。指導者が教へてくれる。美しい自然も、猛烈な怒れば恐るべきものだと思ふ。夏の陽が遠慮なく照りつける。汗が驟すちを流れる。



見渡す限り荒涼たる降灰地の一部に荒蕪の試作圃がある。昭和四年の大爆發以後、山も畑も六尺もの灰の下に埋められて、文字通り砂漠のまにに死ね果てた火山灰地に、いま再び人間の力がこの國を育てあげようとしてゐるのだ。まびた三尺にも足らぬ荒蕪の葉よ、すこやかに伸びてくれと願ふ。



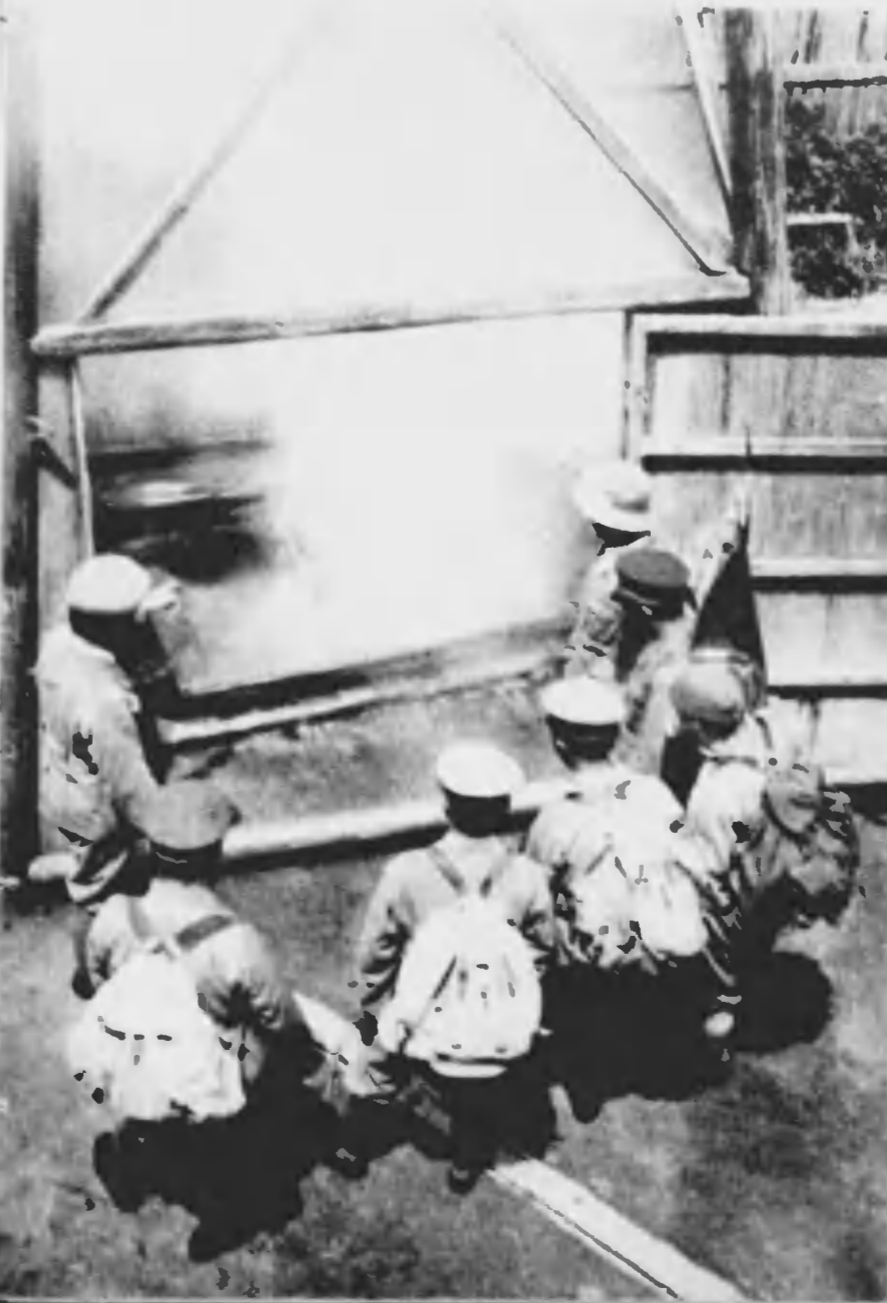
村はづれの森に忠魂碑が立つてゐる。碑文によると日露戦役を討つた武勇をたたへ、つひに國の英雄となつた忠魂をたたへる碑である。われは恭しく英雄に魂を捧げると共に、今大陸に奮戦する皇軍の武運長久を心から祈つた。



宿泊所では入浴、食事が済むと宿泊所長が北海道の開發に關するお話を下さつた。所長は村の小学校の校長先生だ。お話をすむと、丁度こゝで一緒に泊り合せた別の徒歩旅行隊と互ひに自己紹介をし、文脈の第一歩として二組に別れて照相機をした。一點の差でわれ／＼の組が勝つた。あとは賑やかにおらが町の自慢話に花が咲き時局論に火花を飛ばして、九時一齊に寝に就く。



炎熱の道を二十キロ、悠々と余裕を見せて山麓の温泉につきた。第一日の行程を終る。それでも流石に汗はびつしより、埃まみれ宿泊所にリニックスを降すと、まづ何よりも風呂だ。溢れ出る浴槽にのび／＼と身を浸せば憂の疲れが快く融けて行く。



行程第二日 午前五時起床、われ／＼に見なつて、旅館の主人も番頭も子供たちも一軒に戸外へ出て、君ヶ代の齊唱の中に國旗掲揚を行ひ、皇居に向つてうそ／＼しく敬慕した。

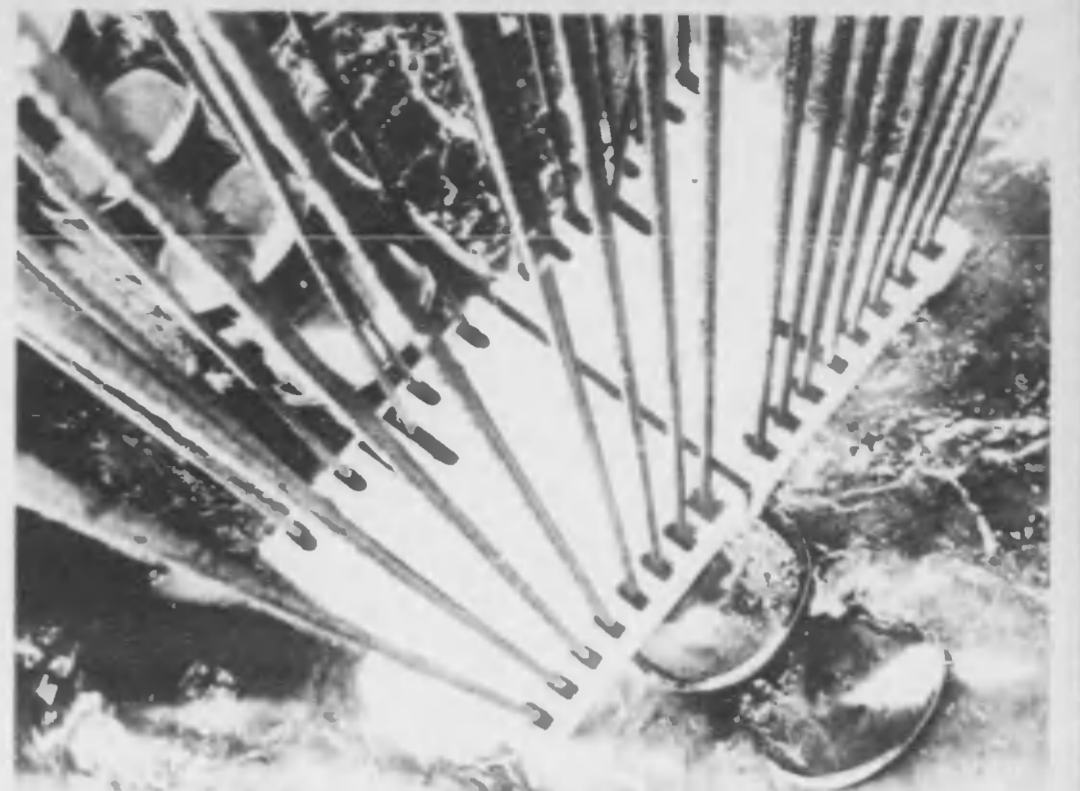
宿泊所長につれられて、湯元の見學に行く。この温泉は間歇泉で、約十五分毎に湯が噴き出すのださうである。先生は火山と温泉との關係を委しく説明して下さい。興味深くきく。





海の彼方

ボルトリコ
 最新科学
 最新科学つかり近代
 戦術兵器を備へた
 中米ボルトリコは精
 鋭歩兵部隊は、森の
 タ・サライナスの精
 林地帯で約熱の太陽
 の下に御覧の通り先
 進防備を備へて、先
 鋒隊の演習を展開し
 た。



古めかしくも
 うるはしい聖
 體新神行列
 スキスのグニス
 ベルテルミーン
 といふ町では、今
 年も太古そのま
 まのアルプスのバ
 ノラマの風景を背
 景に聖體新神行列
 が納巻物のやりに
 繰り出された。
 アルプス高原の牧
 場を横切つて進む
 行列は、密やかなほ
 雪を頂く神祕の山
 が殊更に美しく
 引き立てた。

イギリスの海
 底埋没黄金引
 揚作業
 二百萬磅といふ
 莫大な金額を積ん
 で、一七九九年あ
 へなくも海底の海
 屑と消へたイギリ
 スの産業快速船走
 船一リニューチン
 號は今なほタリ
 エリン島沖合、
 九十フイットの海
 底にそのまゝにな
 つておる、まゝに
 つておく手はない
 といふので、最近
 イギリス・サルベ
 イチの誇るカリバ
 ークの千八百馬力
 汽機で、クレ
 ンに百三十ものシ
 ヤベルをつけ大仕
 かけな黄金埋没引
 揚作業が開始され
 た。イギリス中
 にもちきつておる
 といふ。

夏はオートバ
 イも飛泳をあ
 げて
 ドイツでは、南
 少年訓練の一つと
 してこの性どハ
 ルツ山脈越えの男
 壯なオートバイ競
 走が行はれたが、
 これはそのとき、
 障害物の水溜りを
 フルスビードで走
 り抜ける瞬間で
 ある。

アメリカ南北
 戦争七十五周
 年記念祭
 一叙解放の一た
 めに北米合衆國が
 二つに別れて戦つ
 た南北戦争、七
 五年前、當時の激
 の地ゲツタイスバ
 ーグには今年七月
 永遠の平和を希ふ
 ためといふ記念碑
 が建立された。こ
 の古戦場にルーズ
 ヴェルト大統領も
 來臨、内亂に血を
 流した祖先の眞嗣
 を心から祈り、今
 日は老勇士と敵戦
 争の時を過ぎた



新 鮮 な る 眼 科 薬

ルイマス



季節の感光膜に

映る強烈な紫外線

山で海で舗道で—痛み
傷つくあなたの眼に

スマイルの治効
の爽やかさよ!

入器容の置装式眼動動自
鏡五十四・鏡五十二價薬
りあに店貨百・店業福全

スマイルの快よい薬作用は夏の
強烈な光線・塵埃・病菌から眼
を護り、眼内炎症を解消せしめ
ます。又この季節に多い、結膜
炎、たぶれ目、トラホーム等を
治療し、視力を明快にします。

店商置玉 社合式株 版大京東 店理代總

読者のカメラ

兵隊さん、戦地はさぞかし御苦い
ことせう。兵隊さんの御苦勞を思
つてわたくしども今年の夏は一層
勉強をはげみ、身體をきつへてをり
ます。今日はお母さんと一緒にと
のへた品々をお送り致します。お受
取りになつた兵隊さんの嬉しさうな
お姿を思ふと胸が躍るやうな気がい
たします。

慰問袋にそへて

東京市 本郷区
日暮正次



事變一周年
中野区民 曹島
陳紹文
七月七日の支那事變
一周年の日、青島では
日華青年合同の學生大
會が開かれた。日華旗
と五色旗に飾られた演
壇に立つて日華の若人
が父々説くは只ひたす
らに日支の提携、東亞
の安定であつた。新亞
細亞の建設こそ之等青
年の意氣と力に依つる
の多い。

乾布摩練體操
東京市常盤橋小学校
波多野真兒
「先生もう少し速く號
令かけて下さい。赤く
ならなければどうも氣
分が出ないのですよ」
先生の號令のまにま
にキョウと背中中に
鳴る乾布のさはやかな
響、炎天下のからした
鋭鐘は眞冬の風邪の神
に對しても、兒童の身
體をトーチカのやうに
頑健なものにしてくれ
る。



小戦士
京都市 伏見区 山口 晃司



可愛らしい袴の姿も高く、玉散る水の夏
前掛つて、すつくと立上つた小戦士の姿。今大
陸に活躍する、鬼をもひく部長にも、兵隊
さんにも、こんな幼い日の思ひ出があらう。尙
武の國日本はいつまでも強い。

所 込 申	價 定	昭和十三年八月十日印刷發行
寫眞週報 發行部 東京市常盤橋町 内閣情報部 印刷部 大日本印刷株式會社 東京市本郷区 日暮町一丁目	一 部 十 錢 一 年 (前金) 四圓八十錢 一 年分未滿配達御希望の 方は一部十錢の割合を以て 前金を添へ御申込み下さい	寫眞週報 發行部 東京市常盤橋町二丁目 電話一四四六・一四四七 東京市本郷区 日暮町一丁目 電話三五八〇
全國各地官報販賣所 東都書局株式會社 最寄書店・驛書店 各地新聞販賣所 寫眞材料店		

寫眞週報(禁轉載)
わか海の荒鷲が敵陣地頭上に
生み落した卵の一突、クリーク
を前面に控へてうね／＼と廻り
連ねられた敵艦隊のもの凄さ
主力の激からクリークの上手へ
隨所に延ばされた哨兵隊はつ
きり見られる。いま機腹から離
れたばかりのこの標艦はこの艦
から遙か後方の部隊にある敵司
令部に命中した。(昨秋上海戰
艦店附近の戦場)

磨齒ブラク 薬用

合配 ルーロクアヴルカールーロク 劑菌殺力強
ルーモチドーヨ

致一國學 に防予齒シム

大楠公印
クラブ齒磨



殺菌力の強い 唯一の藥理的齒磨

ブラシにつけてこするだけが齒磨の役目ではありません。齒ブラシの行き届かない奥歯のスキ間や深みにまで薬劑が浸透し有害なバイキンを絶滅してこそ、眞に科學的な齒磨と云へます。

その點、藥用クラブ齒磨は普通の齒磨と全然ちがひます。專賣特許の強力殺菌劑クロールカルヴァクロールとヨードチモールを配合してゐますから、ムシ歯・口臭・齒槽膿瘍を防止するはもとより、惡疫・結核の豫防にも役立ちます。しかも快い味、爽やかな香り、保健と衛生に注意なされる方ならきつと藥用クラブ齒磨をお選びになる筈です。

煉・半煉 十八センチ以上各種

のみの藥賣有所店ニ、ブラク

許特賣專大七

- 第一〇一九七號 酸素を含有せる齒磨の製法
- 第一〇二二二〇號 オゾンを含むせる齒磨の製法
- 第一〇三三三三號 過酸化水素を安定なる状態に於て含有せしめたる齒磨の製法
- 第一一五二二二號 新殺菌劑クロールカルヴァクロールを含有せる齒磨
- 第一二二四七四號 新殺菌劑ヨードチモールを含有せる齒磨
- 第一二四二一九號 クロラミンを配合せる齒磨
- 第一二五七〇〇號 (最新特許) 銀コロイドを配合せる齒磨

(本書の大きさは規定規格A4・二週報二倍)